

■本居長世 作曲家。童謡運動に身を投じて、多くの傑作童謡を作曲し、普及のため娘ら連れて演奏活動。  
もとおりながよ  
内閣発足・・・1885＝ 東京下谷で、本居宣長を祖とする国文学者本居丁信の子に生まれる。  
帝国大学始・1886＝ 1歳：母が腸チフスで死去、父も去ったため、以後、祖父本居豊顕のもとで祖父母を両親と思ったまま育ち、  
この間、江戸川へ転居。  
帝国憲法発布1889＝ 4歳：  
  
大本教・・・1892＝ 7歳：東京高等師範付属小学校に入学。  
  
日清戦争始・1894＝ 9歳：  
  
白馬会・・・1896＝11歳：この年、祖父豊顕が皇太子(後の大正天皇)の教育係東宮侍講となる。  
八幡製鉄始・1897＝12歳：卒業し、同付属中学校に入学。突如実兄が登場、お家騒動が起こって、廃嫡となり、  
  
Bushidou・・・1899＝14歳：独協中学校2年に転入するも、休学。 \_漠然と音楽を志すようになる。  
  
田中正造直訴1901＝16歳：特待生になるも、病氣理由に退学し、  
教科書疑獄・1902＝17歳： \_東京音楽学校に仮入学、祖父からピアノを贈られ、  
日比谷公園・1903＝18歳： \_首席で卒業し、本科器楽科に進む。ケーベルの指導を受け、  
日露戦争始・1904＝19歳：病気で長期欠席し留年となる。  
日露戦争終・1905＝20歳：楽友会主催の“戦後祝賀音楽会”に出演。再び、病気で長期欠席、  
満鉄発足・・・1906＝21歳：留年となり、首席の座を譲るも、  
  
アラビヤ創刊・1908＝23歳： \_全学首席で卒業。母校で教鞭をとるかたわら、文部省による邦楽の調査研究にも従事。  
伊藤博文暗殺1909＝24歳：結婚。 \_おとぎ歌劇「月の国」、  
韓国併合・・・1910＝25歳： \_器楽部助教授となる。フィルハーモニー第1回演奏会でピアノ曲「数え歌ヴァリエーション」を自演、  
大逆事件判決1911＝26歳：長男が夭折。  
明治天皇没・1912＝27歳：長女みどりが誕生。\*白木屋音楽部顧問となり、喜歌劇「浮れ達磨」を上演、代表作に。唱歌「達磨さん」。  
大正政変・・・1913＝28歳：祖父が死去、実父の存在を知る。\*国民歌劇会結成、小歌劇「夢」初演、「数え歌ヴァリエーション」等評判。  
第一次大戦始1914＝29歳：次女貴美子が誕生。助教授を外される。\_宝塚少女歌劇養成会第1回公演で喜歌劇「浮れ達磨」、白木屋でお伽歌劇「月の国」「夢」上演。巖谷小波と出会い、以後親交。「涙の幣」がケンブリッジで演奏される。  
  
21ヶ条要求・1915＝30歳：次男が誕生。脳溢血で倒れ危篤、回復するも右手指に後遺症。  
民本主義・・・1916＝31歳： \_東京音楽学校を退官。  
ロシア革命・1917＝32歳：赤坂に転居。  
本格政党内閣1918＝33歳： \_弟子の弘田竜太郎らと{如月社}結成、西欧の音楽をふまえ新しい日本音楽の方向を探るうち、  
べルサイ条約・1919＝34歳：三女若葉が誕生。肺炎で危篤。\_尺八の吉田晴風を通じて箏の宮城道雄を知り、3人の交流が始まり、  
大暴落・・・1920＝35歳：本居合唱曲集」刊行。目黒に転居。\*新日本音楽運動へと発展。山田耕筰や中山晋平らとともに童謡運動に身を投じ、野口雨情「葱坊主」皮切りに、毎号{金の船}に童謡を発表するうち、新日本大演奏会で長女に「十五夜お月さん」を歌わせて童謡歌手1号にするとともに、一躍童謡作曲家の名声が高まり、  
  
原敬首相暗殺1921＝36歳：\*早速レコード化される。「新作童謡」刊行。{とんぼ社}顧問となり、{金の船}、西條八十創刊の雑誌{かなりや}ほか諸雑誌に、「お山の大将」「七つの子」「赤い靴」「めえめえ小山羊」「青い眼の人形」「通りゃんせ」。長女連れて九州巡演、さらに御前演奏。以後、多作となるも傑作は少なくなるが、  
  
水平社結成・1922＝37歳：四女が誕生するも夭折。{金の船}が分裂。\_次女も童謡歌手デビューさせ、娘2人連れ全国巡演。  
関東大震災・1923＝38歳：「浮かれねずみ」ほか。震災答礼音楽会のため、娘2人連れ、ハワイでの大歓迎を経てアメリカに赴く。  
護憲三派圧勝1924＝39歳：自ら作詩した「ないしょばなし」が評判。カリフォルニア州で答礼公演。排日運動で興行が厳しいなか、オヒューム劇場と契約し、娘2人が藤原義江・上山草人と共演などするが、消耗して帰国。  
  
治安維持法・1925＝40歳：\_NHKの試験放送に娘2人と出演、姉妹はラジオの人気者となり、以後本居親子は最多出演の記録。樺太まで演奏旅行後、三女もデビューさせて全国巡演するなど、童謡普及に尽力。「俵はごろごろ」ほか。  
  
円本時代始・1926＝41歳：{童話}廃刊となる。\_台湾へ初の演奏旅行。「居眠り地蔵」「おくれ時計」ほか。  
金融恐慌・・・1927＝42歳：{シンフォニー新作楽譜}創刊。\_「汽車ポッポ」ほか、  
共産党事件・1928＝43歳：日本作曲家協会理事。\_「第2次如月社」発足。「桃太郎」ほか。  
世界恐慌・・・1929＝44歳：\_コンクールで「ジャンヌ・ダルク」が1位。  
海軍軍縮条約1930＝45歳：\_吉本新喜劇に出演し、各紙で批判を浴びる。  
満州事変・・・1931＝46歳：長女が結婚し失意。\*「日本童謡曲集」を編集し刊行。\_戦時体制となって、唱歌全盛となって行くなか、  
五一五事件・1932＝47歳：この年、秘密裏に散財するのに面倒見続けてきた父が覚悟の自殺。世に知られてしまったことから、姿消そうと一浩と改名。\_新橋に{本居ミュージック・スタジオ}を開設、  
  
国際連盟脱退1933＝48歳：帝国ホテルで楽劇「夢」再演。  
帝人疑獄事件1934＝49歳：「本居一浩童謡曲集」を刊行。台湾を再訪。名前を長世に戻した後長豫と改名。  
芥川直木賞始1935＝50歳：前年来の明治天皇御製百首の作曲を完成、自ら負担して発表会も開催。ライ予防法成立に憤慨し、瀬戸内大島の療養所{青松園}へ慰問の次女・三女連れて演奏旅行するも、世に伏せられたままになる。  
  
二二六事件・1936＝51歳：次女が結婚して、また打撃。  
日中戦争始・1937＝52歳：目黒の城も失い成城に転居。\_この年まで、童謡作曲を続け、オペラ・合唱曲含め約780の作品を残して、  
健保+総動員1938＝53歳：長女が死去。「御製・謡曲集」を自費出版。  
第二次大戦始1939＝54歳：  
日米開戦・・・1941＝56歳：  
敗戦・・・1945＝60歳： \_敗戦直後、自宅で、肺炎で、没した。